

問8 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における入院患者について、平成21年6月の入院前の居場所別の人数をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 自院の急性期病床 <sup>注1</sup>		人
(2) 自院のその他の病床		人
(3) 他病院	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(4) 有床診療所	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(5) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(6) その他居住系サービス <sup>注2</sup> 等の施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(7) 在宅		人
(8) その他		人

注1) 急性期病床とは、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室に係る届出病床を指す。

注2) 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問9 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における転棟・転院・退院患者について、平成21年6月の転棟・転院・退院先別の人数をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 自院の回復期リハ病棟		人
(2) 自院の亜急性期病室		人
(3) 自院の(1)～(2)以外の一般病棟		人
(4) 自院の(1)以外の療養病棟		人
(5) 自院の(1)～(4)以外の病棟		人
(6) 他病院	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(7) 有床診療所	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(8) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(9) その他居住系サービス <sup>注1</sup> 等の施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(10) 在宅		人
(11) その他		人

注1) 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問 10 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）において、「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」を用いて評価を行った患者のAモニタリング及び処置等に係る得点、B患者の状況等に係る得点について、平成20年6月及び平成21年6月の平均値、各得点ごとの入院患者延べ数をご記入ください。

		平成20年6月		平成21年6月		
(1) 一般病棟におけるAモニタリング及び処置等に係る得点の平均値 <sup>注1</sup>		点		点		
(2) 一般病棟におけるB患者の状況等に係る得点の平均値 <sup>注1</sup>		点		点		
(3) 平成20年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の各得点ごとの入院患者延べ数 <sup>注2</sup>						
		B患者の状況等に係る得点				
		0～2点	3点	4点	5点	6～8点
置等に 係る得点	0～1点	人	人	人	人	人
	2点	人	人	人	人	人
	3点	人	人	人	人	人
	4点	人	人	人	人	人
	5～7点	人	人	人	人	人
	8～10点	人	人	人	人	人
(4) 平成21年6月の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の各得点ごとの入院患者延べ数 <sup>注2</sup>						
		B患者の状況等に係る得点				
		0～2点	3点	4点	5点	6～8点
置等に 係る得点	0～1点	人	人	人	人	人
	2点	人	人	人	人	人
	3点	人	人	人	人	人
	4点	人	人	人	人	人
	5～7点	人	人	人	人	人
	8～10点	人	人	人	人	人

注1) 平均値は、小数点第三位を四捨五入して小数点第二位まで算出する。

注2) 入院患者延べ数とは、算出期間中に7対1入院基本料を算定している延べ患者数をいう。なお、患者数に産科及び小児科の患者数は含まない。

問 11 貴病棟の一般病棟入院基本料を算定している病床（特定入院料、短期滞在手術基本料が算定可能な病棟・病室を除く）における重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合について、院内の他の病棟と比較した場合の状況として該当するものをお選び下さい。

(1) 貴病棟における重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合の院内他病棟との比較（○は1つ）

01 割合が高い傾向にある      02 割合が低い傾向にある      03 どちらともいえない

(2) (1)の理由として該当するものを全てお選びください。（○はいくつでも）

01 手術が多い（少ない）      03 検査が多い（少ない）      05 高齢者が多い（少ない）  
02 処置が多い（少ない）      04 転科・転棟が多い（少ない）      06 入退院が多い（少ない）

【(1)の理由を具体的にご記入ください】

■最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力まことに有り難うございました。

記入漏れがないかをご確認の上、○月○日(○)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 21 年度調査）

7 対 1 入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料  
及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、  
及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（案）

一般病棟名

- 上記の病棟を平成 21 年 6 月 1 日に退棟された患者から 4 名を選び、下記設問についてご回答下さい。
- なお、平成 21 年 6 月 1 日に退棟された患者が 4 名に満たない場合は、同年 6 月 2 日の退棟患者から、それでも不足する場合には順に 3 日、4 日と対象日を進め、順次、退棟された患者を追加ください。
- 本調査票は、質問票と回答用紙が分かれております。質問票をご覧になりながら、回答用紙の各患者欄に、当該患者の各設問における選択番号等をご記入下さい。

■ 質問票

A 患者の基本的事項

1	発症年月日	西暦 ____年 ____月 ____日		
2	入棟年月日	西暦 ____年 ____月 ____日		
3	入棟期間中に 診断された 主傷病と副傷病	別紙 2「疾病コード表」より該当番号を選択		
		①主傷病(1つ) _____	②副傷病(2つまで) _____	
4	診療科(1つ選択)	別紙 1「診療科コード表」より該当番号を選択		
5	性別	1 男性    2 女性	6 年齢 (6月1日現在) _____ 歳	
7	①世帯構成	1 単独世帯    2 同居有り世帯		
	②キーパーソン	1 有り    2 無し		
	③続柄 (②有りの場合)	1 配偶者    4 父母または配偶者の父母    7 兄弟姉妹 2 子    5 孫    8 他の親族 3 子の配偶者    6 祖父母    9 その他		
8	入棟期間中の 算定状況	①地域連携診療計画管理料	1有 2無    ④褥瘡ハイリスク患者ケア加算 1有 2無	
		②地域連携診療計画退院時指導料	1有 2無    ⑤退院調整加算 1有 2無	
		③褥瘡患者管理加算	1有 2無    ⑥後期高齢者退院調整加算 1有 2無	
9	院内クリニカルパス の使用状況	1 有り →	①バリエーションの状況 1 有り    2 無し	
		2 無し		
10	リハビリテーション の実施状況	1 有り →	①リハビリの種類 (複数選択可)	1 心大血管疾患    4 呼吸器 2 脳血管疾患等    5 摂食機能療法 3 運動器    6 集団コミュニケーション
			②リハビリ開始日	西暦 ____年 ____月 ____日
		③リハビリ頻度	週 _____ 単位	
		2 無し		
11	透析の実施状況	1 有り →	①透析開始日	西暦 ____年 ____月 ____日
			②透析の方法	1 血液透析    2 腹膜透析
		2 無し		

**B 入棟時の患者状況**

1	入棟前の居場所 (1つ選択)	1 在宅	9 06～08 以外の他院の他の病床		
		2 自院の回復期リハビリテーション病棟	10 介護老人保健施設 (老人保健施設)		
		3 02 以外の自院の一般病床	11 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		
		4 02 以外の自院の療養病床	12 グループホーム		
		5 02～04 以外の自院の他の病床	13 有料老人ホーム・軽費老人ホーム (ケアハウス)		
		6 他院の回復期リハビリテーション病棟	14 高齢者専用賃貸住宅		
		7 06 以外の他院の一般病床	15 障害者支援施設		
		8 06 以外の他院の療養病床	16 その他		
2	入棟した背景 (1つ選択)	1 疾病の (急性) 発症 (疑いを含む) のため			
		2 疾病の (急性) 増悪のため			
		3 疾病の急性期状態が安定したため			
		4 継続的な高度の医療管理が必要なため			
		5 継続的なリハビリが必要なため			
		6 在宅でも対応できるが家族等の受け入れ体制が整わないため			
		7 介護保険施設等でも対応できるが空きがないため			
		8 本人・家族が希望するため			
		9 その他 (自由記入欄)			
3	入棟した理由 (複数選択可)	1 検査が必要なため	4 放射線治療が必要なため		
		2 点滴治療等が必要なため	5 手術が必要なため		
		3 抗がん剤投与が必要なため	6 その他 (自由記入欄)		
4	入棟日の「一般病棟 用の重症度・看護必 要度に係る評価票」 における「A.モニタ リング及び処置等」 の得点	1) 創傷処置	点	9) 専門的な治療・処置	点
		2) 血圧測定	点	①抗悪性腫瘍剤の使用	1有 2無
		3) 時間尿測定	点	②麻薬注射薬の使用	1有 2無
		4) 呼吸ケア	点	③放射線治療	1有 2無
		5) 点滴ライン同時3本以上	点	④免疫抑制剤の使用	1有 2無
		6) 心電図モニター	点	⑤昇圧剤の使用	1有 2無
		7) シリンジポンプの使用	点	⑥抗不整脈剤の使用	1有 2無
		8) 輸血や血液製剤の使用	点	⑦ドレナージの管理	1有 2無
5	入棟日の「B.患者の 状況等」の得点	1) 寝返り	点	5) 口腔清潔	点
		2) 起き上がり	点	6) 食事摂取	点
		3) 座位保持	点	7) 衣服の着脱	点
		4) 移乗	点		
6	入棟時の患者の その他の状況等	①輸液ポンプの使用	1有 2無	④人工呼吸器の装着	1有 2無
		②動脈圧測定 (動脈ライン)	1有 2無	⑤床上安静の指示	1有 2無
		③中心静脈圧測定 (中心静脈ライン)	1有 2無		

**C 入院 (入棟) 中の患者状況**

1	手術の実施	1 有り →	①全身麻酔 (静脈麻酔除く)	1 有り	2 無し	
			②手術名			
			③手術年月日	西暦 ____年 ____月 ____日		
		2 無し				
2	侵襲性の高い 検査の実施	1 有り →	①主な検査 (血管造影等)			
			②実施年月日	西暦 ____年 ____月 ____日		
		2 無し				
3	侵襲性の高い 処置の実施	1 有り →	①主な処置 (胸腔穿刺等)			
			②実施年月日	西暦 ____年 ____月 ____日		
		2 無し				

<b>4</b>	「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」の合計点数が最高点*の時の状況				
	1) 年月日	西暦 ____年 ____月 ____日			
	2) A モニタリング及び処置等	1) 創傷処置	点	9) 専門的な治療・処置	点
		2) 血圧測定	点	①抗悪性腫瘍剤の使用	1有 2無
		3) 時間尿測定	点	②麻薬注射薬の使用	1有 2無
		4) 呼吸ケア	点	③放射線治療	1有 2無
		5) 点滴ライン同時3本以上	点	④免疫抑制剤の使用	1有 2無
		6) 心電図モニター	点	⑤昇圧剤の使用	1有 2無
		7) シリンジポンプの使用	点	⑥抗不整脈剤の使用	1有 2無
		8) 輸血や血液製剤の使用	点	⑦ドレナージの管理	1有 2無
	3) B 患者の状況等	1) 寝返り	点	5) 口腔清潔	点
		2) 起き上がり	点	6) 食事摂取	点
3) 座位保持		点	7) 衣服の着脱	点	
4) 移乗		点			

\*最高点の日が複数日あった場合には、最初に最高点となった日とする。

#### D 退棟時の患者状況

<b>1</b>	退棟年月日	西暦 2009年 6月 ____日			
<b>2</b>	退院支援計画書の策定	1 有り          2 無し			
<b>3</b>	退棟後の居場所 (1つ選択)	1 在宅	9 06～08 以外の他院の他の病床		
		2 自院の回復期リハビリテーション病棟	10 介護老人保健施設 (老人保健施設)		
		3 02 以外の自院の一般病床	11 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)		
		4 02 以外の自院の療養病床	12 グループホーム、有料老人ホーム等		
		5 02～04 以外の自院の他の病床	13 高齢者専用賃貸住宅		
		6 他院の回復期リハビリテーション病棟	14 障害者支援施設		
		7 06 以外の他院の一般病床	15 死亡		
		8 06 以外の他院の療養病床	16 その他		
<b>4</b>	転 帰	1 治癒    2 軽快    3 不変    4 悪化    5 死亡    6 その他			
<b>5</b>	退棟日の「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」における「A.モニタリング及び処置等」の得点	1) 創傷処置	点	9) 専門的な治療・処置	点
		2) 血圧測定	点	①抗悪性腫瘍剤の使用	1有 2無
		3) 時間尿測定	点	②麻薬注射薬の使用	1有 2無
		4) 呼吸ケア	点	③放射線治療	1有 2無
		5) 点滴ライン同時3本以上	点	④免疫抑制剤の使用	1有 2無
		6) 心電図モニター	点	⑤昇圧剤の使用	1有 2無
		7) シリンジポンプの使用	点	⑥抗不整脈剤の使用	1有 2無
		8) 輸血や血液製剤の使用	点	⑦ドレナージの管理	1有 2無
<b>6</b>	退棟日の「B.患者の状況等」の得点	1) 寝返り	点	5) 口腔清潔	点
		2) 起き上がり	点	6) 食事摂取	点
		3) 座位保持	点	7) 衣服の着脱	点
		4) 移乗	点		
<b>7</b>	退棟までの経緯 (1つ選択)	1 入院診療計画書にある推定入院期間より早く退棟 2 入院診療計画書にある推定入院期間どおりの退棟 3 病状が安定せず、退棟が延びた 4 入所・転院する施設の都合で、退棟が延びた 5 退棟先である在宅で、家族等の受入れ体制が整わず、退棟が延びた 6 退棟先である在宅での介護保険サービスの利用開始待ちのため、退棟が延びた 7 その他 (自由記入欄)			

### ＜別紙 1＞診療科コード表

01 内科	10 アレルギー科	19 小児外科	28 性病科
02 呼吸器科	11 リウマチ科	20 産婦人科	29 こう門科
03 消化器科（胃腸科）	12 外科	21 産科	30 リハビリテーション科
04 循環器科	13 整形外科	22 婦人科	31 放射線科
05 小児科	14 形成外科	23 眼科	32 麻酔科
06 精神科	15 美容外科	24 耳鼻いんこう科	33 歯科
07 神経科	16 脳神経外科	25 気管食道科	34 矯正歯科
08 神経内科	17 呼吸器外科	26 皮膚科	35 小児歯科
09 心療内科	18 心臓血管外科	27 泌尿器科	36 歯科口腔外科

注) 01～36 に定める診療科目以外を標榜している場合には、最も近似する診療科名をお選びください。

**<別紙2> 疾病コード表**  
(ICD-10 2003年版を準用)

主病コード (001~120)		
<b>I 感染症及び寄生虫症</b>	041 屈折及び調節の障害 042 その他の眼及び付属器の疾患	<b>XII 皮膚及び皮下組織の疾患</b> 085 皮膚及び皮下組織の感染症 086 皮膚炎及び湿疹 087 その他の皮膚及び皮下組織の疾患
001 腸管感染症 002 結核 003 主として性的伝播様式をとる感染症 004 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患 005 ウイルス肝炎 006 その他のウイルス疾患 007 真菌症 008 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 009 その他の感染症及び寄生虫症	<b>VII 耳及び乳様突起の疾患</b> 043 外耳炎 044 その他の外耳疾患 045 中耳炎 046 その他の中耳及び乳様突起の疾患 047 メニエール病 048 その他の内耳疾患 049 その他の耳疾患	<b>XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患</b> 088 炎症性多発性関節障害 089 関節症 090 脊椎障害 (脊椎症を含む) 091 椎間板障害 092 頸腕症候群 093 腰痛症及び坐骨神経痛 094 その他の脊柱障害 095 肩の傷害<損傷> 096 骨の密度及び構造の障害 097 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
<b>II 新生物</b>	<b>IX 循環器系の疾患</b> 050 高血圧性疾患 051 虚血性心疾患 052 その他の心疾患 053 くも膜下出血 054 脳内出血 055 脳梗塞 056 脳動脈硬化 (症) 057 その他の脳血管疾患 058 動脈硬化 (症) 059 痔核 060 低血圧 (症) 061 その他の循環器系の疾患	<b>XIV 腎尿路生殖系の疾患</b> 098 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患 099 腎不全 100 尿路結石症 101 その他の腎尿路系の疾患 102 前立腺肥大 (症) 103 その他の男性生殖器の疾患 104 月経障害及び閉経周辺期障害 105 乳房及びその他の女性生殖器疾患
<b>III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b> 021 貧血 022 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	<b>X 呼吸器系の疾患</b> 062 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> 063 急性咽頭炎及び急性扁桃炎 064 その他の急性上気道感染症 065 肺炎 066 急性気管支炎及び急性細気管支炎 067 アレルギー性鼻炎 068 慢性副鼻腔炎 069 急性又は慢性と明示されない気管支炎 070 慢性閉塞性肺疾患 071 喘息 072 その他の呼吸器系の疾患	<b>XV 妊娠、分娩及び産じょく</b> 106 流産 107 妊娠高血圧症候群 108 単胎自然分娩 109 その他の妊娠、分娩及び産じょく
<b>IV 内分泌、栄養及び代謝疾患</b> 023 甲状腺障害 024 糖尿病 025 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	<b>XI 消化器系の疾患</b> 073 う蝕 074 歯肉炎及び歯周疾患 075 その他の歯及び歯の支持組織の障害 076 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 077 胃炎及び十二指腸炎 078 アルコール性肝疾患 079 慢性肝炎 (アルコール性のものを除く) 080 肝硬変 (アルコール性のものを除く) 081 その他の肝疾患 082 胆石症及び胆のう炎 083 痔疾患 084 その他の消化器系の疾患	<b>XVI 周産期に発生した病態</b> 110 妊娠及び胎児発育に関連する障害 111 その他の周産期に発生した病態
<b>V 精神及び行動の障害</b> 026 血管性及び詳細不明の認知症 027 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 028 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 029 気分 [感情] 障害 (躁うつ病を含む) 030 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 031 知的障害 (精神遅滞) 032 その他の精神及び行動の障害		<b>XVII 先天奇形、変形及び染色体異常</b> 112 心臓の先天奇形 113 その他の先天奇形、変形及び染色体異常
<b>VI 神経系の疾患</b> 033 パーキンソン病 034 アルツハイマー病 035 てんかん 036 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 037 自律神経系の障害 038 その他の神経系の疾患		<b>XVIII 症状、徴候等で他に分類されないもの</b> 114 症状、徴候等で他に分類されないもの
<b>VII 眼及び付属器の疾患</b> 039 結膜炎 040 白内障		<b>XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響</b> 115 骨折 116 頭蓋内損傷及び内臓の損傷 117 熱傷及び腐食 118 中毒 119 その他の損傷及びその他の外因の影響

診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成21年度調査）  
**7対1入院基本料算定病棟に係る調査、亜急性期入院医療管理料  
 及び回復期リハビリテーション病棟入院料算定病院に係る調査、  
 及び「地域連携クリティカルパス」に係る調査（案）**

- 特に指示がある場合を除いて、平成21年〇月1日現在の状況についてお答え下さい。
- 数値を記入する設問で、該当する者・施設等が無い場合は、「0」（ゼロ）をご記入下さい。

亜急性期病室を有する病棟名

■本調査票の一般病棟名・ご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成21年（ ）月（ ）日
ご記入担当者名	

■貴病棟の概要についてお伺いします。

問1 貴病棟で算定している診療報酬として該当するものを全てお選びください。

貴病棟で算定している診療報酬	01 一般病棟7対1入院基本料（準7対1） 02 一般病棟10対1入院基本料 03 亜急性期入院医療管理料1 04 亜急性期入院医療管理料2
----------------	---

問2 亜急性期病室を持つ貴病棟の届出病床数について、平成20年6月時点及び平成21年6月時点の総数と内訳をご記入ください。

	平成20年6月	平成21年6月
(1) 病棟病床数 総数	床	床
(2) [再掲] 亜急性期入院医療管理料が算定可能な病床	床	床

問3 亜急性期病室を持つ貴病棟において、平成21年6月1日の時点で雇用している看護師、准看護師、看護補助者の人数をご記入ください。

	平成21年6月1日	
	常勤	非常勤 (常勤換算 <sup>注1</sup> )
(1) 看護師	人	人
(2) 准看護師	人	人
(3) 看護補助者	人	人

注1) 非常勤職員の常勤換算の算出方法

貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを記入。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{非常勤看護師数} = \frac{4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 0.5人$$



問4 亜急性期病室における専任の在宅復帰支援担当者について、平成21年6月の <b>担当者数</b> 、 <b>職種</b> をご記入ください。	
	平成21年6月
(1) 専任の在宅復帰支援担当者数	人
(2) 専任の在宅復帰支援担当者の職種 (○はいくつでも)	
01 医師      02 看護職員      03 看護補助者      04 ソーシャルワーカー      05 事務職員      06 その他	

問5 亜急性期病室を有する貴病棟において、平成21年6月1日の時点で <b>専従・専任している職種別の職員数</b> について、一週間当たりの勤務状況から算出した常勤換算後の人数をご記入ください。				
	平成21年6月1日		平成21年6月1日	
(1) 医師	. 人	(6) 診療放射線技師	. 人	
(2) 薬剤師	. 人	(7) 臨床検査技師	. 人	
(3) 理学療法士	. 人	(8) 臨床工学技士	. 人	
(4) 作業療法士	. 人	(9) ソーシャルワーカー	. 人	
(5) 言語聴覚士	. 人	(10) 事務職員	. 人	

注) 専従とは、貴病棟の業務のみに従事している者をいう。専任とは、貴病棟での業務とその他の部署等での業務を兼務している者をいう (例: 午前の3時間は貴病棟の薬剤管理業務に従事するが、午後の5時間は薬剤部門での調剤業務に従事する者等を指す)。

注) 専従・専任している職員の常勤換算の算出方法

貴病院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを記入。

例: 1週間の通常勤務時間が40時間の病院で、貴病棟に専従の薬剤師が1人、週4日(各日1時間)勤務の専任の薬剤師が1人いる場合

$$\text{専任薬剤師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 1人 + 4日 \times 1時間 \times 1人}{40時間} = 1.1人$$

問6 亜急性期病室の入室患者について、平成20年6月及び平成21年6月の <b>入室患者数</b> 、 <b>7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合等</b> をご記入ください。			
		平成20年6月	平成21年6月
(1) 入室患者数		人	人
別 入 室 理 由 数	(2) [再掲] 急性期治療を経過した患者		人
	(3) [再掲] 在宅・介護施設等からの患者であって症状の急性増悪した患者		人
	(4) [再掲] その他		人
(5) 7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合 <sup>注1)</sup>		%	%

注1) 「7対1入院基本料等から転床又は転院してきた入院患者数の割合」とは、「亜急性期入院医療管理届出病床の入院患者数」に占める「7対1入院基本料、準7対1入院基本料、10対1入院基本料を算定している病棟(一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料及び専門病院入院基本料に限る)、入院時医学管理加算、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料並びに脳卒中ケアユニット入院医療管理料のいずれかを算定している病床から転床又は転院してきた患者であり、かつ当該病室に入室した時点で、疾患の主たる治療の開始日より3週間以内である患者数」の割合を指す。

問7 亜急性期病室の <b>退室患者</b> について、平成20年6月及び平成21年6月の <b>退室患者数</b> 、 <b>退院患者のうち他の保険医療機関へ転院した者等を除く者の割合</b> をご記入ください。			
		平成20年6月	平成21年6月
(1) 退室患者数 <sup>注1)</sup>		人	人
(2) 退院患者のうち、他の保険医療機関へ転院した者等を除く者の割合		%	%

注1) 退室患者数: 以下の「転棟」、「転院」、「退院」の用語の定義に該当する患者数の合計

○転室: 亜急性期病室から当該病棟の一般病床に移動した人数      ○転院: 別の医療機関に移動した人数

○転棟: 別の病棟に移動した人数

○居宅: 自宅又は医療機関ではない施設に移動した人数

問8 亜急性期病室の入室患者数について、平成21年6月の入室前の居場所別の人数をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 自院の7対1入院基本料等 <sup>注1</sup> のいずれかを算定している病床		人
(2) 自院のその他の病床		人
(3) 他病院の7対1入院基本料等 <sup>注1</sup> のいずれかを算定している病床	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(4) 他病院のその他の病床	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(5) 有床診療所	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(6) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(7) その他居住系サービス <sup>注2</sup> 等の施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(8) 在宅		人
(9) その他		人

注1) 「7対1入院基本料等」とは、「7対1入院基本料、準7対1入院基本料、10対1入院基本料を算定している病棟（一般病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料及び専門病院入院基本料に限る）、入院時医学管理加算、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料並びに脳卒中ケアユニット入院医療管理料のいずれかを算定している病床」を指す。

注2) 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問9 亜急性期病室の退室患者数について、平成21年6月の退室先別の人数をご記入ください。

		平成21年6月
(1) 自院の回復期リハ病棟		人
(2) 自院の(1)以外の一般病棟		人
(3) 自院の(1)以外の療養病棟		人
(4) 自院の(1)～(3)以外の病棟		人
(5) 他病院	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(6) 有床診療所	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(7) 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(8) その他居住系サービス <sup>注1</sup> 等の施設	同一二次医療圏	人
	県内他二次医療圏	人
	県外	人
(9) 在宅		人
(10) その他		人

注1) 居住系サービスとは、グループホーム、有料老人ホーム・軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅を指す。

問 10 亜急性期病室の平均在院日数、病床利用率について、平成 20 年 6 月及び平成 21 年 6 月の数値をご記入ください。

	平成 20 年 4~6 月	平成 21 年 4~6 月
(1) 平均在院日数 (平成 20 年 4~6 月及び平成 21 年 4~6 月の 3 ヶ月の平均)	日	日
(2) 病床利用率 (平成 20 年 4~6 月及び平成 21 年 4~6 月の 3 ヶ月の平均)	%	%

■最後に、本調査に関連した事項でご意見等がございましたら、下欄に自由にお書き下さい。

設問は以上です。ご協力まことに有り難うございました。

記入漏れがないかをご確認の上、〇月〇日(〇)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。